

2021 年度 公益社団法人日本技術士会 中部本部 愛知県支部

## 第 6 回年次大会資料

日時： 2021 年 6 月 12 日（土）13：30～

場所： Web 開催

報告事項：

第 1 号報告 2020 年度 事業報告、決算報告

第 2 号報告 2021 年度 事業計画案、予算案



中部本部 愛知県支部

# 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 第1号報告 2020年度 事業報告、決算報告              | 1  |
| 1.1 支部の活動内容                         | 1  |
| 1.2 支部の会合                           | 2  |
| 1.3 講演会等の開催実績                       | 2  |
| 1.4 見学会の開催実績                        | 2  |
| 1.5 総務広報委員会の活動内容                    | 2  |
| 1.6 例会の詳細                           | 3  |
| 1.7 決算報告                            | 6  |
| 1.8 支部会員データ                         | 8  |
| 第2号報告                               | 9  |
| 2.1 事業推進の方針                         | 9  |
| 2.2 具体的施策                           | 9  |
| 2.3 支部活動計画                          | 9  |
| 2.4 予算案                             | 11 |
| 関連資料                                | 12 |
| 愛知県支部の運営における個別事項に関する手引き             | 12 |
| 県支部にける組織体制                          | 14 |
| 県支部委員会の所掌事項                         | 15 |
| 県支部組織役員リスト                          | 16 |
| 別冊資料                                |    |
| 愛知県支部社会貢献委員会 2020年度活動報告及び2021年度活動計画 |    |

## 2020年度事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

### 1.1. 支部の活動内容

前年度に引き続き会員の皆様の満足と技術士の認知度を上げるための多くのイベントを企画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため大幅に活動を縮小せざるを得なかった。その中で会議や例会を Web で行うなど新たな手法を用いた運営方法の試行に取り組み、役員会や他の会議として例会などをオンラインで行う方法をほぼ確立した。

年3回の例会はいずれもオンライン方式を併用して開催した。Web での参加者だけでなく、会場に来られた方々にも満足していただけるような方法を模索した。その結果、参加者数は例年に比べてそれほど減っておらず、遠方の参加者の数はむしろ増えたため、Web による例会の良さを確認することができた。

当初は愛知県で技術士全国大会が予定されており、それに向けた準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になり、2023年に延期することになった。

以下に、活動概要を示す。今年度は全て Zoom を用いたオンラインの活動となったが、一部の活動については対面式の会合も併用した。

#### (1) 支部における年次大会（全体会合）・役員会・委員会活動

7月25日に年次大会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

#### (2) 役員会及び委員会

- 1) 支部長を含む23名で構成された支部役員会を6回開催
- 2) 委員長を含む6名で構成された企画研修委員会を3回開催
- 3) 委員長を含む6名で構成された社会貢献委員会を1回開催
- 4) 委員長を含む7名で構成された総務広報委員会を1回開催
- 5) 委員長を含む15名で構成された防災委員会を2回開催

#### (3) 行 事

- 1) 企画研修委員会によるふれあい技術士プラザと業績発表会を1回ずつ開催
- 2) 社会貢献委員会による講演会を1回開催
- 3) 防災委員会による自治体アドバイスと防災測量研修会を2回開催
- 4) 総務広報委員会は、全国大会準備委員会の事務局業務

#### (4) その他

- 1) 社会貢献委員会食問題研究会では「食に関わる問題の研究及び自己研鑽」を10回実施
- 2) 同じく、社会貢献委員会企業活動研究会では「環境・品質・安全とISO国際規格など企業活動に関する諸問題の研究」を10回実施。
- 3) 同じく、社会貢献委員会わいがやフォーラムでは「地域・中小企業支援、技術者の技術テーマについて月1回の頻度で議論し、11回実施。

1. 2. 支部の会合

| 区分 | 年次大会<br>(全体会合) | 役員会 | 委員会 | 講演会<br>見学会 | その他 | 計  |
|----|----------------|-----|-----|------------|-----|----|
| 回数 | 0              | 6   | 7   | 3          | 31  | 46 |

1. 3. 講演会等の開催実績

|              |   |                    |       |    |
|--------------|---|--------------------|-------|----|
| 2020. 11. 29 | 設備技術者の考える新型コロナ<br>と感染対策                       | 技術士（衛生工学部門）        | 松田則雄  | 50 |
|              | コロナ禍に想う、歴史、脆弱社<br>会、技術活動への展望                  | 技術士（農業部門）          | 山口正隆  |    |
| 2021. 1. 10  | ふれあい技術士プラザ                                    | 技術士全員              |       | 22 |
| 2021. 3. 27  | 海外部品で組み立てられる国<br>産トレーラー驚異の長期使用<br>と部品の品質改善指導— | 技術士（機械・総合技術監<br>理） | 竹下敏保  | 37 |
|              | アメリカ化学会が推し進める<br>Green Chemistry と注目技術        | 中部大学講師・博士（工学）      | 中島江梨香 |    |

1. 4. 見学会の開催実績

秋に見学会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

1. 5. 総務広報委員会の活動内容

‘20年度初から、政府発令のコロナ禍に伴う緊急事態宣言（4/28）により、直接顔合わせ方式の会議の開催が出来ず、オンライン会議も各員によるソフトの使用習得まで一定の時間を要したため、実質の活動は休止となった。（なお、昨年度の会議主要事案であった第47回技術士全国大会（愛知）の開催（本委員会で骨子（案）等を討議）は、7月度に中止決定連絡をEメールにて委員各位に周知した。）

‘20年9月頃からは、支部役員会等でZoom使用によるオンライン会議がスタートするも、本委員会は休止状態が続き、Zoomによる打合せを開催したのは、‘21/1/30となった。

「Zoom等オンラインソフト暫定使用ルール（案）」選定の相談を行い、支部役員会での承認を得ている（2/27）。

## 1. 6. 例会の詳細

### (1) 2020年度 第1回 防災委員会市町村災害支援事業（試行）の実施

愛知県支部防災委員会・中部本部建設部会共催

日時：2020年11月12日（木）、 対象町：南知多町

支援名：公共施設に対する技術アドバイザー 担当：中野、平野

支援概要：①土砂崩れにより通行止めとなった離島にある町道の復旧方法について

②洗掘された防波堤の復旧方法について

### (2) 2020年度 第2回 防災委員会市町村災害支援事業（試行）の実施

愛知県支部防災委員会・中部本部防災支援小委員会共催、

日時：2020年11月24日（火）、 対象町：武豊町

支援名：災害復旧のための測量技術習得講座として「ポール横断測量講習会」を開催

担当：中野、平野

支援概要：参加者は一般採用の若手職員14名で、測量の知識の無い人がほとんどであった。

午後1時30分から3時までは、測量方法の座学、測量実習、測量結果の図化、質疑応答を行い、ポール横断測量に対する理解をしていただいた。準備は、こちらで用意した電子データのテキストを武豊町に印刷をお願いした。また、会場、測量器具などのすべてを町にお願いした。コロナ禍に対する配慮は十分なされていた。

### (3) 2020年度 第1回例会 社会貢献委員会 わいがやフォーラム WG

日時：2020年11月29日（日） 13:30～17:00

場所：技術士会中部本部会議室 + Zoom

参加者：50

テーマ：新型コロナには、こう対応せよ

#### ① 講演1 「設備技術者の考える新型コロナと感染対策」

講師：技術士(衛生工学部門)

松田則雄先生

COVID-19の伝播のメカニズム、飛沫の挙動、空調システムや換気回数など様々な視点から技術的に解説され、現場の感染や換気に関する技術的情報をいかに国民に知らせるかが重要だと強調された。

#### ② 講演2 「コロナ禍に想う、歴史、脆弱社会、技術活動への展望」

講師：技術士(農業部門)

山口正隆先生

これまで人類が経験した多くの感染症の詳細な解説があった。そして我々技術者は、公益確保のため社会秩序を維持する立場での基本軸がぶれることが無いように、常に心がけて活動することが大切であり、コロナ禍での危機管理(リスク以上クライシス以下)に対応が求められているとのお話であった。

Zoomの講演会なので盛り上がるというわけには行かなかった、会場の皆様には概ね喜んでいただけたようであった。リアルとオンラインを同時にやるという試みは難しいところも多く、スタッフはかなり苦労したが、目立ったトラブルはなく何とか無事に終わった。

(4) 2020年度 第2回例会(企画研修委員会開催) ふれあい技術士プラザ

日時: 2021年1月10日(日) 13:30~16:30

場所: Webによる開催

参加者: 22名

「技術士ネットワークを使って、私の活動・ビジネス構想を発展させよう」のテーマで、技術士の出会い・マッチングの場とする。テーマに基づいて、参加者から事前に自己紹介文を提出してもらい、自己紹介文をもとに3分間スピーチを行った。その後、5名程度で4グループに分かれて「技術士としての業務開発、そのきっかけ作り」をテーマにディスカッションを行った。

最後に各グループの代表者から、ディスカッションの結果を発表した。Webによる開催のメリットとして、三重、岐阜、静岡、北海道、神奈川、福岡からも参加があり、愛知県支部を超えた技術士の交流が行われた。総括として、自身の技術力(シーズ)とニーズとのマッチングを図ることが大切で、それには人脈・交流が大切であるとした。

(5) 2020年度 第3回例会(企画研修委員会開催) 業績発表会

日時: 2021年3月27日(土) 13:30~16:50

場所: 中部大学春日井キャンパス7号館3階ファカルティルーム及びWebによるオンライン

参加者: 37名(岐阜県、三重県からの参加者を含む)

① 演題1: 海外部品で組み立てられる国産トレーラー

—驚異の長期使用と部品の品質改善指導—

講演者: 機械・総合技術監理部門 竹下敏保氏

独自のデータ集計、分析により、トレーラーはトラックに比べ約1.4倍の平均使用年数があること、そのため、部品の劣化による事故防止を推進するため事故防止活動を行ったことが報告された。トレーラー部品の多くは海外からの輸入部品であり、それらの品質改善管理の管理表について説明、経験的手法が紹介された。技術動向では、欧州などで進められている自動車部品の再生工場について紹介があった。日常生活に欠かすことのできない多くの「もの」は物流により成り立っているが、それを支える輸送機器としてのトレーラーは一般にはなじみが薄い。今回の講演でそれらに関して理解を深めることができた。

② 演題2: アメリカ化学会が推し進める Green Chemistry と注目技術

講演者: 中部大学講師 博士(工学) 中島江梨香氏

溶液を流(フロー)しながら連続的に化学合成を行う精密有機合成について報告があった。これまで実験室でフラスコを使って合成した化学物質はその後、化学プラントで大量に生産されてきた。しかし、最近では机上においても工業的な化合物を生産できる、マイクロフローケミストリーが採用されている。コンパクトなこの方法による様々な取り組みが、特に欧米で盛んに進められている。

研究成果では有機触媒を使用したフロー法での合成で、繰り返し使える触媒充填カラム型フロー合成法を考案したことなどが紹介された。このシステムは高機能で安価、毒性も殆どなく持続的に生産ができ、汎用性があり、しかも、環境にも優しい新たな手法として工業化が検討されている。最近の研究設備としてスマホを使用した遠隔操作による実験の遂行や、ロボットと人が共存する研究室などの紹介があり、画期的な有機化学合成の実現について学習できた。

講演後、希望者による研究施設等の見学を行った。実際の合成装置の説明を聞き、改めてそ

のコンパクトな装置に感動し実感した。また、廃油を再生化した燃料 **BDF** (バイオディーゼル燃料) の研究設備や、最大 150 人が同時に学べる CAD 実習室や三次元プリンター、学内には珍しい、19 世紀初期の和風建築茶室「洞雲亭」などを見学した。

1. 7. 決算報告

収支計算書

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

統合会計（地域組織）  
一般会計

愛知県支部  
（単位：円）

| 科 目                 | 予算額          | 決算額        | 差 異          |
|---------------------|--------------|------------|--------------|
| <b>I 事業活動収支の部</b>   |              |            |              |
| 1. 事業活動収入           |              |            |              |
| 事業収入                | [ 750,000]   | [ 0]       | [ 750,000]   |
| 自主事業収入              | ( 750,000)   | ( 0)       | ( 750,000)   |
| 参加費収入               | 550,000      | 0          | 550,000      |
| 外部依頼管理収入            | 200,000      | 0          | 200,000      |
| 地域組織収入              | [ 780,000]   | [ 780,000] | [ 0]         |
| 地域組織活動費収入           | 780,000      | 780,000    | 0            |
| 雑収入                 | [ 10,000]    | [ 0]       | [ 10,000]    |
| 雑収入                 | 10,000       | 0          | 10,000       |
| 事業活動収入計             | 1,540,000    | 780,000    | 760,000      |
| 2. 事業活動支出           |              |            |              |
| 事業費支出               | [ 1,535,000] | [ 279,058] | [ 1,255,942] |
| 事業広報費               | ( 155,000)   | ( 0)       | ( 155,000)   |
| 会誌郵送費               | 5,000        | 0          | 5,000        |
| インターネット運用費          | 10,000       | 0          | 10,000       |
| その他の広報活動費           | 140,000      | 0          | 140,000      |
| 研鑽費                 | ( 800,000)   | ( 40,000)  | ( 760,000)   |
| 講演会・見学会開催費          | 800,000      | 40,000     | 760,000      |
| 業務推進費               | ( 580,000)   | ( 239,058) | ( 340,942)   |
| 賃金                  | 100,000      | 60,000     | 40,000       |
| 会議費                 | 100,000      | 26,510     | 73,490       |
| 旅費交通費               | 250,000      | 149,140    | 100,860      |
| 通信運搬費               | 10,000       | 1,373      | 8,627        |
| 消耗品費                | 10,000       | 0          | 10,000       |
| 印刷製本費               | 50,000       | 0          | 50,000       |
| 各種会合費               | 50,000       | 0          | 50,000       |
| 雑費その他               | 10,000       | 2,035      | 7,965        |
| 事業活動支出計             | 1,535,000    | 279,058    | 1,255,942    |
| 事業活動収支差額            | 5,000        | 500,942    | △ 495,942    |
| <b>II 投資活動収支の部</b>  |              |            |              |
| 1. 投資活動収入           |              |            |              |
| 投資活動収入計             | 0            | 0          | 0            |
| 2. 投資活動支出           |              |            |              |
| 投資活動支出計             | 0            | 0          | 0            |
| 投資活動収支差額            | 0            | 0          | 0            |
| <b>III 財務活動収支の部</b> |              |            |              |
| 1. 財務活動収入           |              |            |              |
| 財務活動収入計             | 0            | 0          | 0            |
| 2. 財務活動支出           |              |            |              |
| 財務活動支出計             | 0            | 0          | 0            |
| 財務活動収支差額            | 0            | 0          | 0            |
| <b>IV 予備費支出</b>     |              |            |              |
| 予備費支出               | 0            | 0          | 0            |
| 当期収支差額              | 5,000        | 500,942    | △ 495,942    |
| 前期繰越収支差額            | 1,865,000    | 2,135,859  | △ 270,859    |
| 次期繰越収支差額            | 1,870,000    | 2,636,801  | △ 766,801    |



## 貸借対照表

2021年 3月31日現在

統合会計（地域組織）  
一般会計

愛知県支部  
（単位：円）

| 科 目        | 当年度       | 前年度       | 増 減       |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部     |           |           |           |
| 1. 流動資産    |           |           |           |
| 現金預金       | 2,552,211 | 2,135,859 | 416,352   |
| 現金         | 59,993    | 238,641   | △ 178,648 |
| 普通預金       | 2,492,218 | 1,897,218 | 595,000   |
| 前払金        | 84,590    | 0         | 84,590    |
| 流動資産合計     | 2,636,801 | 2,135,859 | 500,942   |
| 資産合計       | 2,636,801 | 2,135,859 | 500,942   |
| III 正味財産の部 |           |           |           |
| 1. 指定正味財産  |           |           |           |
| 指定正味財産合計   | 0         | 0         | 0         |
| 2. 一般正味財産  | 2,636,801 | 2,135,859 | 500,942   |
| 正味財産合計     | 2,636,801 | 2,135,859 | 500,942   |
| 負債及び正味財産合計 | 2,636,801 | 2,135,859 | 500,942   |

## 財産目録

2021年 3月31日現在

統合会計（地域組織）  
一般会計

愛知県支部  
（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等    | 使用目的等   | 金 額       |
|---------|-----------|---------|-----------|
| (流動資産)  |           |         |           |
| 現金      | 手元保管      | 運転資金として | 59,993    |
| 預金      | 普通預金      |         | 2,492,218 |
|         | 愛知/ゆうちょ銀行 |         | 2,492,218 |
| 前払金     |           |         | 84,590    |
| 流動資産合計  |           |         | 2,636,801 |
| 資産合計    |           |         | 2,636,801 |
| 正味財産    |           |         | 2,636,801 |

## 1. 8. 支部会員データ

### 会員数

#### (1) 各県下の個人会員数（中部本部傘下の会員数）

| 県名  | 日本技術士会会員<br>(2021年4月末現在) |     |       |
|-----|--------------------------|-----|-------|
|     | 正会員                      | 準会員 | 合計    |
| 愛知県 | 732                      | 201 | 933   |
| 岐阜県 | 165                      | 47  | 212   |
| 三重県 | 103                      | 34  | 137   |
| 静岡県 | 255                      | 72  | 327   |
| 中部計 | 1,255                    | 354 | 1,609 |

#### (2) 全国の個人会員数(2021年3月末現在)

会員 15,665 名、準会員 3,289 名、合計 18,954 名

#### 部門別正会員・準会員数(2021年3月末現在)

| 部門      | 愛知県支部 |     |       | 全 国    |       |        |
|---------|-------|-----|-------|--------|-------|--------|
|         | 正会員   | 準会員 | 合計    | 正会員    | 準会員   | 合計     |
| 正・準別    |       |     |       |        |       |        |
| 機械      | 130   | 57  | 187   | 1,711  | 587   | 2,293  |
| 船舶・海洋   | 0     | 0   | 0     | 18     | 8     | 26     |
| 航空・宇宙   | 12    | 10  | 22    | 70     | 50    | 120    |
| 電気電子    | 82    | 22  | 104   | 1,794  | 474   | 2,268  |
| 化学      | 22    | 15  | 37    | 429    | 209   | 638    |
| 繊維      | 6     | 0   | 6     | 82     | 13    | 95     |
| 金属      | 26    | 6   | 32    | 364    | 74    | 432    |
| 資源工学    | 1     | 0   | 1     | 52     | 7     | 59     |
| 建設      | 325   | 50  | 375   | 6,636  | 1,076 | 7,712  |
| 上下水道    | 51    | 12  | 63    | 1,030  | 259   | 1,289  |
| 衛生工学    | 36    | 14  | 50    | 523    | 142   | 665    |
| 農業      | 37    | 0   | 37    | 865    | 159   | 1,024  |
| 森林      | 6     | 1   | 7     | 303    | 56    | 359    |
| 水産      | 3     | 4   | 7     | 198    | 44    | 242    |
| 経営工学    | 29    | 6   | 35    | 527    | 149   | 676    |
| 情報工学    | 31    | 18  | 49    | 741    | 386   | 1,127  |
| 応用理学    | 29    | 8   | 37    | 813    | 127   | 940    |
| 生物工学    | 7     | 5   | 12    | 192    | 150   | 342    |
| 環境      | 27    | 21  | 48    | 489    | 440   | 929    |
| 原子力・放射線 | 1     | 1   | 2     | 224    | 38    | 262    |
| 総合技術監理  | 183   | 1   | 184   | 8,190  | 11    | 4,201  |
| 部門別計    | 1,044 | 251 | 1,295 | 21,251 | 4,459 | 25,710 |
| 会員数計    | 732   | 201 | 933   | 15,665 | 3,289 | 18,934 |

## 2021年度 事業計画

### 2. 1. 事業推進の方針

まずは人脈ネットワーク拡大による組織の活性化に全力を傾けます。組織を元気にすることは波及効果が大きく、他の課題の解消に向けたエネルギーを生み出すこととなります。そしてこれは技術士会全体の長年の課題であります。認知度を着実に向上させるような社会貢献やそれらに関連する活動を展開します。さらに技術士の資質向上を見据えて、質の高い例会、WGなどを通じた継続研鑽の充実を図ります。

2023年には愛知での全国大会が控えていますが、それを成功に導くことを明確に視野に入れ、支部会員らの力を結集して上記の課題解決に注力します。

### 2. 2. 具体的施策

次の3項目の具体策を実行します。

- 1) 人脈ネットワーク拡大による組織の活性化
  - ・新合格者、企業内技術者や大学生に対して、技術士会の魅力をアピールする。
  - ・魅力ある例会作りと、その企画の発信を強化する。
  - ・例会などの参加者数の向上と、会の運営に携わる人材を育成する。
- 2) 技術士会の認知度の向上
  - ・外へ向けた社会貢献活動を積極的に実施する。
  - ・知名度向上のための広報活動やネットやメディアなどを通じた発信を強化する。
  - ・地域の関連組織との連携強化や情報交換の活性化に注力する。
- 3) 質の高い継続研鑽による資質向上
  - ・より質の高い例会やWGを通じ、多くの気づきや学びが得られるようにする。
  - ・Webを活用した新しい例会運営を試みるなど、時代の流れを視野に入れた斬新な手法にチャレンジし、会員の満足度を向上させる。

### 2. 3. 支部活動計画

#### 1) 例会（講演会）開催

2021年度は次のとおり。

- |            |                   |                   |
|------------|-------------------|-------------------|
| ・ 6月12日（土） | 年次大会：特別講演会        |                   |
| ・ 9月18日（土） | 第1回例会「講演会」        | 社会貢献委員会①わいがやフォーラム |
| ・ 11月6日（土） | 第2回例会「講演会」        | 防災委員会①防災セミナー      |
| ・ 11月9日（火） | 第3回例会「見学会」        | 企画研修委員会②          |
| ・ 1月29日（土） | 第4回例会「ふれあい技術士プラザ」 | 企画研修委員会③          |
| ・ 2月27日（日） | 第5回例会「業績発表会」      | 企画研修委員会④          |
| ・ 日程未定     | 第6回例会「ワークショップ」    | 社会貢献委員会②企業活動研究    |

#### 2) 役員会の開催

下記のとおりとする。(当面は主に Zoom にて実施する。)

4月24日(土)午後、5月15日(土)午前、6月6日(土)午前、7月31日(土)午前、  
9月18日(土)午前、10月23日(土)午前、1月29日(土)午前、3月27日(日)午前

### 3) 支部委員会活動

#### 3-1) 総務広報委員会

- ・別紙掲載の役割職掌に基づく今年度の活動の進行
- ・県支部役員会開催の2週間前に本委員会を開催(当面は Zoom による)
- ・オンライン会議やその課金などの実施方法の整備
- ・中部本部や各委員会との連携強化による情報共有化と確実な議事進行
- ・予算管理の実施
- ・ホームページの整備

#### 3-2) 企画研修委員会

- ・例会等の運営
- ・統括本部、他地域本部、県支部及び委員会、部会等、との連携方策
- ・県内一部地域における会員活動への支援

#### 3-3) 社会貢献委員会

- ・愛知県支部の会員による活動グループ(研究会)の運営
- ・例会の立案、発信とその運営
- ・他の社会貢献活動の強化

#### 3-4) 防災支援委員会

- ・中部本部建設部会との共催による「防災に関する秋季特別講演会」の開催。
- ・防災に関する勉強会の開催。(2022年2月26日(土)開催予定)
- ・昨年に続いて「愛知県内の町村との支援協定」の締結への模索と新規町村への取組み。
- ・愛知県内の士業団体との提携組織設立を愛知県弁護士会に提案し参加する。
- ・市町村役所に対する職員の防災力アップのための講習会を、土木学会と連携して行う。
- ・防災支援員追加募集・県支部防災委員会委員を募集。

### 4) 支部会員数の拡大

- ・県内の企業内技術者や大学生に対して、技術士の魅力をアピール。
- ・講演会やネットを通じて技術士会に参加することの意義とメリットを発信。

2. 4. 2020 年度 予算案

公益社団法人日本技術士会 中部本部愛知県支部 2021 年度予算案  
(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

| 科 目                         | 2021 年度<br>(予算案) | 2020 年度<br>(決算) | 2020 年度<br>(予算) |
|-----------------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| <b>I 事業活動収支</b>             |                  |                 |                 |
| 1 事業活動収入                    |                  |                 |                 |
| (1) 事業収入(参加費収入)             | 750,000          | 0               | 750,000         |
| (2) 雑収入(賛助会員年会費など)          | 10,000           | 0               | 10,000          |
| (3) 地域組織活動費収入               | 780,000          | 780,000         | 780,000         |
| (4) 地域組織活動補助費収入(講演会・見学会補助費) | 0                | 0               | 0               |
| 事業活動収入計 (A)                 | 1,540,000        | 780,000         | 1,540,000       |
| 2 事業活動支出                    |                  |                 |                 |
| (1) 事業費                     | 1,535,000        | 279,058         | 1,535,000       |
| ① 事業広告費(インターネット運用費など)       | 155,000          | 0               | 155,000         |
| ② 普及啓発費(合同セミナー開催費など)        | 0                | 0               | 0               |
| ③ 研鑽費(講演会、見学会開催費など)         | 800,000          | 40,000          | 800,000         |
| ④ 事業促進費(対外活動促進費)            | 0                | 0               | 0               |
| ⑤ 業務推進費(会議費,旅費交通費,印刷製本代など)  | 580,000          | 239,058         | 580,000         |
| (2) 管理費                     | 0                | 0               | 0               |
| 事業活動支出計 (B)                 | 1,535,000        | 279,058         | 1,535,000       |
| 当期収支差額(事業活動収支差額) (A) - (B)  | 5,000            | 500,942         | 5,000           |
|                             |                  |                 |                 |

※ 2-(1)-①：インターネット運用費(10,000)、その他の広報活動費(140,000)

※ 2-(1)-②：合同セミナー開催無

## 愛知県支部の運営における個別事項に関する手引き

2016. 3. 18 愛知県支部役員会制定

2017. 6. 11 愛知県支部役員会制定

(目的)

第1条 この手引きは、「地域組織の設置運営に関する規則第16条」(個別規則の制定)第1項第4号及び「地域組織運営における個別事項を定めるモデル手引に関する規則」に基づき、愛知県支部(以下、「当支部」という。)の運営について個別の事項について定める。

### 第1章 基本運営

(役員会の開催)

第2条 役員会は、毎年6回以上の開催を基本とする。

(副支部長および幹事の定数)

第3条 副支部長の定数を5名以内とする。

2 幹事の定員を30名以内とする。

(運営組織)

第4条 別記表1に掲げる委員会等を設置し、当支部の運営に当たる。

(委員会)

第5条 委員会は、別記表2に掲げる事項を所掌する。

2 委員会委員の定数は、委員補佐を除き30名以内とする。

(交通費支給範囲)

第6条 当支部は以下の場合、対応した会員の交通費について実費相当額を支給することとする。

- (1) 当支部の代表として出席する外部団体の会議等
- (2) 地域組織委員会が主催する行事運営要員としての行事の参加
- (3) その他、特別な理由により支部長が承認した場合。

### 第2章 協賛団体

(協賛金)

第7条 協賛団体からの協賛金は、1口20,000円(年間)とする。

(協賛団体の扱い)

第8条 協賛団体の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 協賛団体の代表又はその代理者は、当支部年次大会に出席し意見を述べることができる。
- (2) 協賛団体は、当支部会誌又はその他刊行物の配布を無償で受け、当支部の事業成果を当支部の了解を得て利用することができる。
- (3) 協賛団体の構成員は、当支部が主催する会合、講演会等(懇親会は除く)に参加する場合、参加費については、協賛金1口当たり10名まで無料で参加することができる。

### 第3章 事務局

(所在地)

第9条 事務局事務所は、名古屋市に置く。

(体制)

第10条 事務局体制は、次のとおりとする。

- (1) 事務局長 (正会員1名)
- (2) 事務局次長 (当面置かない)
- (3) 事務局職員 (当面置かない)

(報酬)

第11条 事務局を務める以下の者には、実費相当の交通費の他、報酬については役員会で定めた報酬を支払うことができる。

- (1) 事務局長 常勤でない場合、原則無償とする。
  - (2) 事務局職員を置いた場合、本部長が決定した金額の報酬を支払う。
- 2 前項の規定に基づく報酬支払いに当たっては、支部長と本人又は派遣元との間において、報酬、勤務条件等を定めた覚書又は契約書を締結し、役員会に付議しなければならない。

### 第4章 依頼業務

〈依頼業務〉

第12条 当該地域における自治体又は企業等から技術士業務に関わる依頼があった場合の詳細については、別に定める「中部本部外部依頼対応要領」による。

### 第5章 その他

(事務所会議室利用)

第13条 事務所会議室の利用については、当支部長の下承を得なければならない。

(本手引きの改廃)

第14条 本手引きの改廃については、「地域組織の設置運営に関する規則」第16条の規定による。

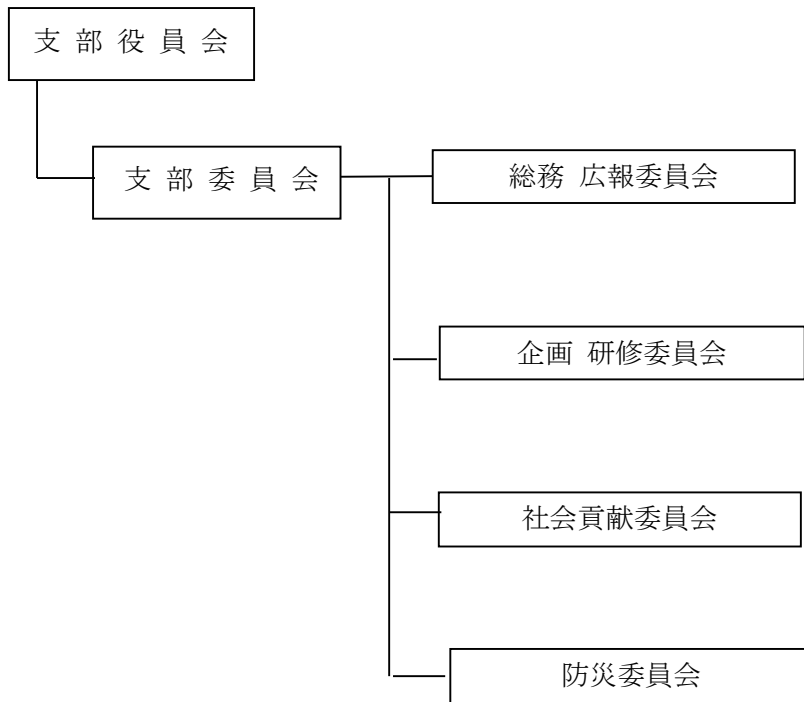
附則 (平成28年3月18日)

この手引きは、平成28年3月13日中部本部総務委員会の審議を経て、平成28年3月18日から施行する。

附則 (平成29年6月11日)

この手引きは、平成28年11月20日中部本部総務委員会の審議を経て、平成29年6月11日から施行する。

【別記表1】 県支部における組織体制





## 【別記表2】県支部委員会の所掌事項

| 県支部委員会  | 主要な業務  |
|---------|--|
| 総務広報委員会 | <p>(総務、会規、広報、情報交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本会の秩序・信用の維持、運営管理及び会員の顕彰に関する事項</li> <li>・ 県支部会報の企画、編集、発行</li> <li>・ 技術士及び本会外部に向けた広報</li> <li>・ ホームページの活用に関わる企画、立案及び維持管理</li> <li>・ Web を活用した会議や例会のアカウント管理や運営に関すること</li> </ul>   |
| 企画研修委員会 | <p>(企画、CPD 研修、見学、講演会、研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本委員会の事業実施についての全般的企画及び財務の管理に関する事項</li> <li>・ 技術士の研修及び技術系人材の育成に関する企画、実施に関する事項</li> <li>・ 技術士 CPD 推進のための研鑽、講演会等諸行事の調査・企画・運営。</li> <li>・ 技術士 CPD の啓発。</li> </ul>   |
| 社会貢献委員会 | <p>(活用促進・業務斡旋・WG・開業支援)</p> <p>主に技術士会以外の組織や一般の方々に対し、技術情報の発信、指導、教育、相談などを通じて貢献し、地域経済や産業の発展に寄与する。</p> <p>主要な業務は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用促進：技術士業務の活用促進支援。業務の受諾、紹介。</li> <li>・ 理科支援：主に小中学生に対し、科学技術に対する夢を膨らませるような理科特別授業の実施。</li> <li>・ 食問題研究：食文化と食の安全、生産技術や HACCP 等の品質管理規格など食に係る問題の研究及び自己研鑽、並びに外部への発信。</li> <li>・ 企業活動研究：環境・品質・安全と ISO 国際規格など企業活動に関する諸問題の研究及び自己研鑽、並びに外部への発信。</li> <li>・ わいがやフォーラム：地域・中小企業支援、技術者の技術テーマ</li> </ul> |
| 防災委員会   | <p>(防災・減災支援活動、発災時の中部本部との連携、防災支援員に関する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災支援対応：国土交通省中部地方整備局、愛知県、中部本部との連携</li> <li>・ 防災教室・防災セミナーの開催</li> <li>・ 防災専門家養成：防災支援員の研修、あるいは市町などの要請があれば支援</li> <li>・ 地域活動への積極的参加：自治体との支援協定の締結</li> <li>・ 防災・減災・復興（BCP 含む）に関する諸問題の研究および自己研鑽、並びに外部への発信</li> </ul>   |

県支部組織役員リスト

| 支部役員会 |                 |
|-------|-----------------|
| 支部長   | 野々部顕治 (社会貢献委員長) |
| 副支部長  | 上田直和 (全般)       |
| 同上    | 池田実 (総務広報委員長)   |
| 同上    | 竹下敏保 (企画研修委員長)  |
| 同上    | 庄村昌明 (防災委員長)    |
| 事務局   | 総務広報委員会         |
| 会計幹事  | 麻田祐一            |
| 幹事    | (池田実、他 22 名)    |
| 特別顧問  | 前田武光            |

※愛知県支部幹事の氏名には、  
下表でアンダーラインを示す

|   |
|---|
| <b>総務広報委員会 (総務・会規/広報・情報交流)</b>  |
| 委員長: <u>池田実</u> 副支部長<br>総務広報委員: <u>山口正隆</u> 、 <u>麻田祐一</u> 、 <u>西本テツオ</u><br><u>三宅立朗</u> 、 <u>高桑俊也</u>   |
| <b>企画研修委員会 (企画/ CPD 研修、見学、講演会、研修)</b>   |
| 委員長: <u>竹下敏保</u> 副支部長<br>企画研修委員: <u>今津英一郎</u> 、 <u>山田豊久</u> 、 <u>跡部昌彦</u> 、<br><u>鶴田忠志</u> 、 <u>可児正勝</u> 、 <u>泉川大輔</u>  |
| <b>社会貢献委員会 (活用促進・理科支援・企業支援・食問題・わいがや)</b>  |
| 委員長: <u>野々部顕治</u> 支部長(活用促進、理科支援)<br>社会貢献委員: <u>日比幸人</u> 、本掘雷太(食問題)<br>松田則雄、 <u>長谷川欽一</u> (企業支援)、<br>森永泰彦 (わいがや WG)、 <u>潮田智道</u>                               |
| <b>防災委員会</b>  |
| 委員長: <u>庄村昌明</u> 副支部長<br>防災委員: <u>平澤征夫</u> 、 <u>中野錦也</u> 、 <u>後藤徳善</u> 、 <u>山口正隆</u> 、 <u>池田実</u> 、 <u>小川幸久</u><br>打田憲生、鈴木孝典、古川覚一、杉村俊治、平野正浩、北川昭彦<br>前田武光 (顧問) |

※青字は新任